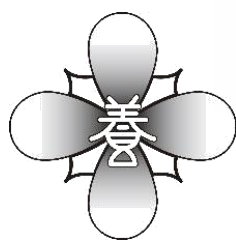


地域で学び、
地域で働く。



山形県立米沢養護学校

高等部普通科 **就労コース**

山形県立米沢養護学校高等部普通科就労コース（令和5年度開設）は、知的障がいのある生徒の就労を目指し、職業自立に必要な力と態度を育成するためのコースです。就労を目指す教育課程を実施する特別支援学校としては、置賜地区に唯一設置されています。

就労コースでは、「地域で学び、地域で働く」ことを念頭に、卒業後は地元の企業で働くことを目指します。就労に向け、職業科を中心とした学習に取り組みながら、地域の企業での実習に繰り返し取り組むなど、地域と連携、協働した職業教育を行うとともに、卒業後に即戦力として働くことができる職業人を育てていきます。

地域、企業の皆様方とともに本校の教育の目標である「自分から自分でする人間」、そして、地域で生き生きと働く職業人を育ててまいりますので、御協力どうぞよろしくお願いいたします。

※本資料にある「就労」とは、障害者雇用促進法によるいわゆる障害者雇用枠を活用した就職のことです。

※就労コースの受け入れ対象区域は、置賜地区（3市5町）となります。

就労コースの教育の特色

就労に向けた職業教育の充実

生徒一人一人の職業自立に必要な力と社会自立に必要な素養や態度を育むため、調和のとれた教育課程を編成・実施します。複数の職種を計画的、段階的に経験できるよう教科「職業」の授業時数を確保するとともに、働き続けるための体力を増進するため「体力づくり」に継続的に取り組みます。

本物の働く力を育てる！

職業適性を踏まえた進路指導

個々の職業適性を見極め、職業生活に必要な学習内容を組織し、学校全体を通じてきめ細かに指導を行います。

生徒の希望に応じた進路の主体的な選択と就労に向けて、保護者や労働、福祉、地域など関係機関との連携を基盤とした進路指導を行っています。

主体的な進路選択を支える！

生徒を真ん中に置いた教育

生徒一人一人の思いや願いを大切にしたい支援を行います。また、働くことを中心とした生活の中で、一人一人が学習や諸活動に「自分から」「自分で」精一杯取り組み、「自己有用感」や「自己効力感」を高めることができるように、「できる状況づくり」を大切にしたい支援を行います。

企業と連携・協力した地元での就労支援

置賜地区の就労支援の拠点として、地域とのつながりを重視し、企業との協力体制を構築し、計画的、実践的な実習を行います。また、地域貢献・地域参画活動を継続的に実施します。

地域で働く人材を、地域とともに育てる！

週 時 程

	時間	月	火	水	木	金
登校	8:45					
	8:45~9:05	番替え・清掃・SHR				
1校時	9:05~9:55	LHR	国語	数学	情報	国語
			英語	数学	情報	英語
2校時	10:00~10:25	特別活動	保健体育（体力づくり）			
	10:30~10:55	生活単元学習	職業			
3校時	10:55~11:45					
4校時	11:45~12:45					
	12:45~13:25	給食・昼休み	給食・番替え・SHR	給食・昼休み		
5校時	13:25~14:15	生活単元学習	情報・国語・数学	下校 13:30	情報・国語・数学	職業
6校時	14:20~15:10		保健体育		保健体育	
	15:10~15:25	番替え・SHR		番替え・SHR		
下校	15:25					

※1 高等部普通科総合コース

総合コースでは、作業学習や生活単元学習など各教科等を合わせた指導を中心とした教育課程の中で、基本的な生活習慣やコミュニケーション力、働く意欲や態度を育てます。卒業後は、福祉サービス事業所の利用や一般企業への就労など一人一人に合った進路に進みます。

*国語・数学では、実生活に生かせる内容を学習します。
*情報では、パソコン操作の習得や情報処理検定等の資格の取得を目指します。

*生活単元学習では、自立的な生活に必要な事柄を実践的、総合的に学習します。

*生徒会活動や行事は※1総合コースと一緒に実施し、集団性を高めていきます。

アビリンピック

職業技能の向上を目指し、毎年7月に開かれる「山形県障害者技能競技大会（通称アビリンピックやまがた）」に参加します。製品パッキングやワード・プロセッサなど、自分の得意な種目に出場しています。製品パッキング（初級）では、優秀賞や技能賞を獲得しています。



職業科の取り組み

1年生 食品加工

ドリップバッグコーヒーの製造に取り組みます。コーヒー豆の選別、焙煎、豆挽、個装など一連の工程を分業して取り組みます。

製造したコーヒーは、よねようカフェや市内外の施設で販売します。



2年生 オフィスサービス

県内の印刷会社とコラボしたメモパッドの製造や文書作成、印刷作業に取り組みます。印刷作業では、校内外から委託を受け、名刺やチラシ、年賀状等の作成、文集やプログラムの製本なども行っています。



3年生 クリーンサービス

清掃作業とクリーニングに取り組みます。清掃作業では、校内外の清掃や窓磨き、エアコンの清掃を行います。クリーニングでは、Yシャツや作業着などの洗濯、アイロン掛けを行います。



全学年 よねようカフェ

校舎内で定期的に「よねようカフェ」を営業し、食品加工で焙煎したコーヒーや各種ドリンクを提供しています。接客や調理、新メニューの開発などに取り組み、働く上で必要なコミュニケーション力や判断力を高めています。



デュアル実習

ビジネスマナーや金銭管理等、職業生活・社会生活に必要な学習

現場実習

職業・社会自立に必要な**実践的な力**を付けていきます！

デュアルシステムによる実習(デュアル実習)

デュアル実習とは、「**学びながら、働く**」ことで「職業人を育てる」ために、企業と学校が連携した職業教育システムです。

仕事の現場で授業をします！

学校と企業のパートナーシップ

学校

企業

生徒のメリット

- 早くから技能を身に付けられる
- 実践的な職業実習
- 学習意欲の向上

即戦力

企業のメリット

- 地域貢献
- 生産性アップ
- 将来的な人材確保
- 人材育成（障がい者雇用枠）

- ①教員が、事業主様に会社での仕事内容を聞き、生徒の学習内容としての作業内容を設定します。
- ②教員が、生徒の個々の特性に応じて、「ねらい」を設定し、仕事の進め方は教員が指導・支援します。



デュアル実習

デュアル実習では、企業等で実際の仕事を教員と一緒に幅広く経験し、自分がどのような仕事に向いているのか職業適性を把握したり、実践的な働く力を身に付けたりします。企業の方や地域の方との関わりの中からコミュニケーションの仕方など、実際的な社会性も学びます。

○実習期間：1～2週間（1、2年生のみ年2回）

○実習時間：午前中

（終了後は学校で授業を行う）

【賃金と災害への対応】

実習は授業の一環として行いますので、賃金は不要です。万一、実習中に災害（負傷、疾病等）があった場合は、学校で責任を負います。傷害保険等に参加します。

現場実習

現場実習は、卒業後の就労を目指して実施するもので、企業に雇用していただくことを目的に行われるものです。終日日程で企業に準じて勤務を行い、教員は巡回指導をしますが、基本的には生徒は単独で実習します。

○実習期間：2週間

（1年生は年1回、2、3年生は年2回）

○実習時間：企業と相談をして決定

（企業の就業時間と同様の場合もある）



一生懸命働きます！ぜひ、一緒に働かせてください！

地域貢献・地域参画活動



災害支援のための募金活動

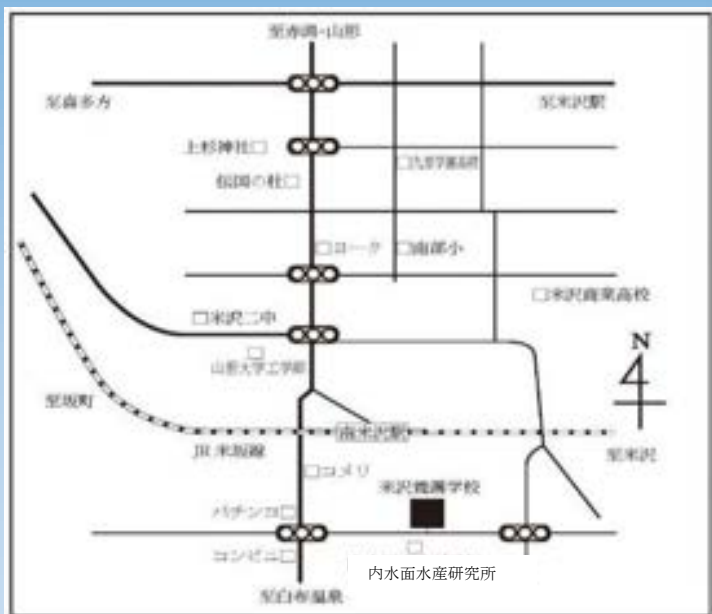


米沢上杉まつりに出店



雪灯籠制作（上杉雪灯籠まつり）

<アクセス>



お近くにお越しの際は、ぜひ、授業の様子など御覧になってください。



インスタ更新中！

山形県立米沢養護学校（本校）

- 自分から自分でする人間を育てる -

〒992-0035

山形県米沢市太田町4丁目1-102

TEL 0238-38-6101（本校職員室）

0238-38-6107（就労コース）

FAX 0238-38-6108（就労コース）